

(仮称) 第2期小金井市保健福祉総合計画（素案）に対する意見及び検討結果について

意見募集期間：平成29年11月24日から12月25日まで

意見提出数：6件・2人

	計画名／ ページ数	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	健康増進計画／ 51ページ 97ページ	・第1節 計画策定の背景 ・基本施策（2）施策の内容	「充実し～」と、ありますが、 「充実させ～」が正しい日本語の用法です。	修正いたします。
2	健康増進計画／ 92ページ	基本施策（4）施策の内容	「普及し～」とありますが、「普及させ～」が正しい日本語の用法です。	修正いたします。
3	健康増進計画／ 99ページ	計画全般について  ②第2節 計画の評価方法	①現計画（第一期）の到達点が非常にあいまいであり、それぞれが課題として取り上げている内容や項目が、現計画の評価と（到達点：達成できたことと何故出来なかったかを明らかにすることが重要）今回のアンケート結果を基にしたの到達点を明確にしての計画策定であると考えます。評価非常に曖昧で単に「事業を継続します。」で、すましているように思います（計画を達成するための努力や工夫をした結果が市民に公表されるべきでしょう！） ②健康増進計画のところにPDCAサイクルの表記が現計画にはページを割いて説明されています（P-99）計画の評価方法として今計画では3行で説明されている、障害者計画でも検証方法として説明されている表記がある。上記①で述べたように評価・検証が反映さ	②現計画同様、PDCAサイクルを掲載します。

			れた計画案になっているのか？疑問です！	
4	健康増進計画／ 81ページ	第2節 基本目標 2 生活習慣の改善	目標が達成されていない項目が多くみられますが、その点についての評価・課題が明確には示されていないのですが、どの様に取り組まれているのでしょうか？何故達成できなかったのでしょうか？	現計画の評価については、75ページから79ページにかけて記載があり、目標が達成されていない項目については「C」という評価を行っています。 また、課題への取り組みにつきましては、88ページから95ページにかけての「基本目標2 生活習慣の改善」の「個別事業・取り組み」の「内容」に記載いたしました。 引き続き、毎年度行っている進捗状況調査により、進行管理を行ってまいります。
5	健康増進計画／ 85ページ 87ページ 89ページ	①がん検診受診率 ②健康づくりに関する情報の普及啓発 ③食育に関する取り組みの推進	ここでの数値目標が現計画の達成値が下がっているのに今回の計画では目標値が高くなっていますが、何故なのでしょう？内容の説明文も現計画と同じ文言です。取り組みへの説明がない中での数値目標が高くなるのはおかしくありませんか？本当に達成できるのですか？達成できなかった時は誰が責任を取るのですか？	①健康増進専門部会で審議した結果、今回の計画では、がん検診受診率の目標を、国の「がん対策推進基本計画（第3期）」（平成29年10月）の目標値と同じ値にしています。根拠のない目標や安易な目標設定ではなく、国の統一的な目標に向かって受診率向上に努めてまいります。また、個別具体の施策につきましては、毎年度行う進捗状況調査により、進行管理を行ってまいります。 ②「厚生労働省「健康日本21（第二次）」の目標値と同じ値にしています。現計画と同様、国の指針と同一のものとし、それに向かって受診割合、利用率向上に努めてまいります。また、個別具体の施策につきましては、毎年度行う進捗状況調査により、進行管理を行ってまいります。 ③「第3次小金井市食育推進計画」の取組の指

				標に基づき設定しています。また、個別具体の施策につきましては、毎年度行う進捗状況調査により、進行管理を行ってまいります。
6	健康増進計画／ 97ページ	基本施策（2）健康づくりの場の充実の数値目標	現計画の数値目標が20127人とあるが現状は15440人と未達成である。それなのに21200人と目標値が上がっているがどのような方策をとるのか？内容は変わっていないのに新たな工夫と努力で達成可能な数値目標なのでしょうか？どのような方策を講じるかが大切で、計画に反映できる内容を記載していただきたい。	現計画の現状数値20,127人は平成20年の延べ人数であり、新計画の現状数値（15,440人）は平成27年の実人数となっています。新計画の目標値は「第3次小金井市生涯学習推進計画」と整合性を図り、平成32年度の目標人数（実人数）と同数としています。

※提出された意見は、原則として全文を掲載します。なお、同趣旨の意見が多数ある場合は、（他に○件）と表示します。